

【四半期決算】ヤマトHD2Q、大口取扱量増で単価下落響く

Edited By LogisticsToday On 2010/10/28

【平成23年3月期第2四半期連結業績】

社名：ヤマトHD

売上高：5978.6億円（3.0%増）

営業利益：202.2億円（11.5%減）

経常利益：213.8億円（10.8%減）

四半期純利益：105.0億円（9.6%減）

デリバリー事業では、大口法人顧客の取扱数量の増加に伴い単価は下落したものの、宅急便・クロネコメール便ともに前年同期の取扱数量を上回った。また、配達品質の維持・向上に向けて「今後の宅急便の増量にも対応できる」新たな取組みを推進し、社員の採用を先行して実施。この結果、配達品質の向上と集配コストの抑制効果が出はじめているという。

デリバリー以外の事業では、法人の顧客での業務の効率化、コストの削減を実現するビジネスモデルの積極的な拡販に努め、新規顧客の獲得、既存顧客との取引拡大に取り組んだ。この結果、BIZ-ロジ事業、e-ビジネス事業を中心に堅調な推移となった。

Article printed from Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト : <http://www.logi-today.com>

URL to article : <http://www.logi-today.com/5882>

Copyright © 2020 Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト. All rights reserved.